

## この間29部隊、のべ700名を派遣！

3月からはじまった医療支援、北海道民医連、青森民医連、秋田民医連の支援を受け、5月1日まで29部隊、のべ700名の支援を派遣してきました。また、事務局は1人8日間を基本に7名を派遣、のべ109日間となっています。

支援隊のみなさん、事務局のみなさん、そして送り出していただいた院所、事業所、部署のみなさんの努力で支援派遣が実現できています。



現地事務局に出発する遠藤次長（4月30日）

## 拠点を移し、支援地域を拡大！

この間大船渡市の赤崎、蛸の浦地区を担当していましたが、大船渡市に入っていた医療支援チームのうち3チームが撤退してしまいました。そこで大船渡市からの要請を受け、盛町や猪川町も担当することになりました。これに伴い、4月28日から拠点を赤崎・漁村センターからリアスホールに移しています。なお、赤崎・漁村センター及びその周辺での活動はこれまでどおり継続していくことになっています。

## 大震災募金 183 万円をこえる

大震災募金が183万円をこえました。院所、事業所の窓口におかれた募金箱に次々と募金が寄せられています。現在、各支部で支部総会が行なわれており、そこでも募金が訴えられています。募金は様々な企画の中で取り組まれようとしています。

## 被災地支援バザー21 万円をこえる

4月30日に被災地支援にと組織部前でバザーとオークションが行なわれました。主催は対策本部、事業利用委員会、仙北支部、ジャンボリーです。バザーには自称100万円の壺や洗濯機という目玉商品も含めて400点もの品が提供されました。10万円目標を大きくこえ21万円を超える益金がありました。



掘り出し物は？



お餅は3升準備しましたがすぐに完売！